

電話 / TV電話

2

電話／TV電話について

2 本機は、音声電話またはTV電話で通話できます。

- イー・モバイルのTV電話と異なる方式を利用しているTV電話とは、接続できません。




電話／TV電話をかける

- 通話中の操作について→P.2-7

1 待受画面で電話番号（市外局番を含む全桁）を入力する


番号編集画面が表示されます。

■ 誤った番号を入力した場合


- を押して消したい番号の左側にカーソルを移動して、を押します。
- を約2秒以上押し続けると、入力した番号をすべて消去できます。

2 電話をかける

音声電話の場合



を押す

TV電話の場合

を押す

3 通話が終わったら、を押す

■ お知らせ

- 発信を中止するときは、または（終話）を押します。
- 電話帳や通話履歴から相手の電話番号を選択して、電話をかけることができます（P.2-14、P.4-11）。
- あらかじめ短縮ダイヤルを登録しておくと、ダイヤルキーを押すだけの簡単な操作で電話をかけることができます（P.4-10）。
- 「自動リダイヤル」を設定すると、電話がつながらなかったときに自動的にリダイヤルできます（P.11-11）。

番号編集画面のサブメニュー

項目	説明
電話帳登録	入力した電話番号を電話帳に登録します（P.4-2）。
SMS新規作成	入力した電話番号を宛先に設定したSMSを作成します（P.5-8）。
電話発信	入力した電話番号に音声電話をかけます。
TV電話	入力した電話番号にTV電話をかけます。

□ 電話／TV電話がつながらなかったとき

相手が通話中の場合



通話中を知らせる画面が表示され、リダイヤル／SMS作成の選択画面が表示されます。

各項目を選択した場合の動作は、次のとおりです。

項目	説明
リダイヤル※	再度、音声電話をかけます。TV電話をかけた場合も、音声電話でリダイヤルします。
TV電話リダイヤル (TV電話をかけた場合のみ)※	再度、TV電話をかけます。
SMS新規作成	SMS作成画面が表示され、相手の電話番号にSMSを送信できます (P.5-8)。

※：「自動リダイヤル」を「オン」に設定している場合は、項目選択後、最大10回リダイヤルを繰り返します (P.11-11)。

相手の電話がTV電話に対応していない場合

音声電話で発信するかどうかの確認画面が表示されます。 (発信) を押すと音声電話でかけ直します。 (キャンセル) を押すと発信を中止します。

電話番号を通知して電話をかける

発信者番号通知を「発信者番号通知」に設定している場合は、相手にお客様の番号が通知されます (P.14-9)。

2

日本国内から国際電話をかける

イー・モバイル国際電話のサービスを利用して、日本国内から国際電話をかけることができます。特別な手続きは必要ありません。

- 相手先電話番号が「0」から始まる場合は、最初の「0」を除いて入力します (一部の国・地域を除く)。

1 「010」 - 「相手先の国番号」 - 「相手先電話番号」を入力し、を押す

■ お知らせ

- TV電話はご利用いただけません。
- 海外の滞在先で電話をかける／受ける (国際ローミング) →P.14-15

プッシュトーンを送る

2

プッシュトーンを送って、トーン信号を利用した情報提供サービスなどを利用できます。あらかじめまとめてダイヤル入力しておき、一括してプッシュトーンを送信することもできます。

● プッシュトーンは、音声電話の通話時に送信できます。

プッシュトーンを1つずつ送信する

電話がつながった後、ダイヤルキー、**[#]**、**[*]**を押してプッシュトーンを送信します。

1 通話中にダイヤルキー、**[#]**、**[*]**を押す

ウェイト (W)、ポーズ (P) を使ってプッシュトーンをまとめて送信する

電話番号の後に「W」（ウェイト）を入力後、サービスダイヤルなどの番号を続けて入力しておく、電話がつながった後、入力した番号をワンタッチでプッシュ信号として送信できます。また、電話番号の後に「P」（ポーズ）を入力した場合は、電話がつながった後、自動的にプッシュ信号として送信します。「W」「P」は**[*]**を繰り返し押して入力します。

〈例〉電話番号03-123X-XXX1に「W」（ウェイト）を挿入してプッシュ信号1234を送信する場合

1 待受画面で「03123XXXX1W1234」を入力し、**[☎]**を押す

- 電話がつながっても、「W」以降の番号は送信されません。

2 電話がつながったら**[☎]**（送信）を押す

「W」以降の番号がプッシュ信号として送信されます。

■ お知らせ

- 「W」「P」は電話帳の電話番号にも登録でき、ダイヤル入力した場合と同様にプッシュ信号を送信できます。よく使うサービスダイヤルなどは、電話帳に登録しておく便利です（P.4-2）。

電話／TV電話を受ける

- 通話中の操作について→P.2-7

1 電話を受ける

音声電話の場合

☑または☐を押す

TV電話の場合

☑または☐を押す

2 通話が終わったら、☑を押す

■ お知らせ

- 着信中に☐（サイレント）を押すと、着信音を止めることができます。再度、着信音を鳴らすときは、☐（サウンド）を押します。
- 着信応答設定やカメラの設定によって、電話／テレビ電話を受ける操作が異なる場合があります（P.2-12、P.11-12）。
- 付属のイヤホンマイク接続中は、イヤホンマイクのスイッチで電話を受けられます（P.2-6）。

着信中画面のサブメニュー

項目	説明
SMSで返信	相手にSMSを送信して、応答せずに電話を切ります。→P.2-7
応答	電話に応答します。
拒否	応答せずに電話を切ります。→P.2-7

2

自動応答で電話を受ける<自動応答>

あらかじめ「自動応答」を設定しておく、次の方法でかかってきた電話に応答できます。

- 設定できる応答方法


項目	説明	
音声電話 (P.2-6)	即時応答	着信して約5秒後、自動的に音声電話がつながります。
	定型文	着信の約20秒後、選択した定型文を自動的にSMSとして送信して電話を切ります。*
	録音メッセージ	着信して約20秒後にあらかじめ録音したメッセージを流し、その後相手のメッセージを録音して電話を切ります。
TV電話 (P.2-6)	着信して約5秒後、自動的にTV電話がつながります。	

※：SMSが届くのは、相手がSMSに対応したイー・モバイル携帯電話の場合のみです。SMS未対応の電話からかかってきた場合、電話は切れますが、SMSは届かず送信失敗となります。

2


音声電話の設定

〈例〉「即時応答」に設定する場合

1 メインメニューの (設定) → 「通話設定」 → 「自動応答」を選択する



2 「即時応答」を選択する

■「定型文」に設定する場合



- ① 「定型文」を選択する
- ② SMSで送信する定型文にカーソルを移動し、 (選択) を押す


■「録音メッセージ」に設定する場合



応答時に相手に流すメッセージを最大約10秒間録音して設定します。

- ① 「録音メッセージ」を選択し、 (確定) を押す
- ②  を押してメッセージを録音する

録音が完了すると、設定確認画面が表示されます。

- 約10秒経過する前に録音を終了する場合は、 (確定) を押します。
- 録音を中止するときには、 を押します。録音中の音声は消去され、録音前の状態に戻ります。


③  (はい) を押す

- 録音内容を確認するときは、 (いいえ) を押して  を押します。

■自動応答を解除する場合

「オフ」を選択する

TV電話の設定

1 メインメニューの (設定) → 「TV電話」 → 「自動応答」を選択する

2 「オン」を選択する

■自動応答を解除する場合

「オフ」を選択する

イヤホンマイクで通話する

本機と付属のイヤホンマイクを接続して、通話できます。イヤホンマイク接続中に電話がかかってくると、イヤホンから着信音が流れます。

●イヤホンマイクの接続方法→P.1-8

1 イヤホンマイクのスイッチを押して、電話を受ける

2 通話が終わったら、イヤホンマイクのスイッチを押して電話を切る

■ お知らせ


- イヤホンマイク接続中も、本機のキー操作で電話を受けたり、切ったりできます。

着信を拒否する

電話がかかってきたとき、次の操作で着信を拒否できます。

1 を押す


■ お知らせ

-  (メニュー) → 「拒否」を選択しても拒否できます。
- イヤホンマイクのスイッチで着信を拒否することはできません。

電話に出られないときにSMSで応答する

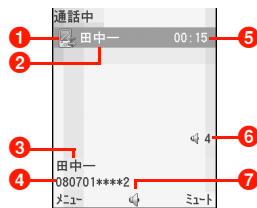
SMS対応のイー・モバイル携帯電話からかかってきた電話に出られないときは、相手にSMSでメッセージを送信してから電話を切ることができます。




- SMS対応のイー・モバイル携帯電話以外の電話からかかってきた場合、電話は切れますが、SMSは届かず送信失敗となります。

- 着信中に  (メニュー) → 「SMSで返信」を選択する
- 送信するメッセージを選択する

通話中の操作

音声電話中の画面の見かた



-  : 通話中
 : 保留中※
 : 通話中の着信※
- 名前（電話帳に登録済みの場合）または電話番号（電話帳に未登録の場合）
- 名前（電話帳に登録済みの場合）
- 電話番号
- 通話時間

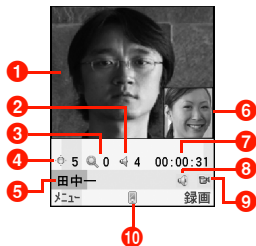
6 音量表示







7 / : 受話器／ハンズフリー

※：割込通話（P.14-7）お申し込みの場合のみ、表示されます。

2





TV電話中の画面の見かた



- 1 メイン画面（お買い上げ時は相手の映像を表示）
- 2 音量表示
- 3 ズーム倍率
- 4 カメラの明るさ
- 5 名前（電話帳に登録済みの場合）または電話番号（電話帳に未登録の場合）
- 6 サブ画面（お買い上げ時は自分の映像を表示）
- 7 通話時間
- 8  /  : 音声のオン／オフ
- 9  /  : カメラのオン／オフ
- 10  /  : 受話器／ハンズフリー

□ TV電話中の調節について

TV電話の通話中は、各キーを押して次の調節ができません。


- 画面の明るさ：を押して画面の明るさを調節します。
- ズームイン／ズームアウト：を押してズームインまたはズームアウトします。
- 音量： / を押して音量を調節します。

受話音量を調節する


相手の声の音量を6段階に調節できます。

1 音量を調節する




■ 相手の声を大きくする

を押す

■ 相手の声を小さくする

を押す

■ お知らせ

- 音声電話中に  (ミュート) を押すと、自分の声が相手に聞こえなくなります。もう一度  (ミュート解除) を押すと聞こえるようになります。TV電話中は、 (メニュー) - 「音声オフ」 / 「音声オン」を選択します。

通話を保留にする

- 音声電話の場合、割込通話 (P.14-7) をお申し込みいただいているときは、通話を保留できます。保留中の相手には、アナウンスと保留音が流れます。
- TV電話の場合、通話保留中の相手には、「送信画像設定」 (P.2-13) の設定画像が映像の代わりに送信されます。
- TV電話の通話保留中は、保留中を示すアナウンスや保留音は流れませんので、ご注意ください。

1 通話中に を押す

通話が保留されます。

2 通話を再開するときは、 を押す

■ お知らせ

- 保留中でも、発信側には通話料金がかかります。

相手の音声を録音する

通話中に相手の音声を録音できます。

1 通話中に を押す

録音が始まります。

2 録音を停止するときは、 を押す

■ お知らせ

- 録音した内容はデータフォルダの「ミュージック」に保存されます。
- 録音中に通話を終了すると、自動的に録音も終了します。

相手の映像を録画する

TV電話の場合、通話中に相手の映像を録画できます。

1 通話中に (録画) を押す

録画が始まります。

2 録画を停止するときは、 (停止) を押す


■ お知らせ

- 録画した映像は、データフォルダの「動画」に保存されます。
- 録画中に通話を終了すると、自動的に録画も終了します。

ハンズフリー通話に切り替える

スピーカーから相手の声を聞きながら通話することができます。

1 通話中に を押す

 を押すたびに、相手の声の出力先がスピーカー／受話口で切り替わります。

音声電話中のサブメニュー

項目	説明
保留／再開	通話を保留または再開します (P.2-9)。
通話終了	通話を終了します。
新規発信	割込通話をお申し込みいただいている場合は、通話中または保留中に、別の相手に電話をかけられます (P.14-8)。
ハンズフリー／受話器	ハンズフリー通話または受話口からの通話を切り替えます (P.2-10)。
録音開始／録音停止	相手の音声を録音または録音を停止します (P.2-9)。
その他のアプリケーション	電話を切らずに、電話帳一覧、SMS一覧、通話履歴一覧の各画面に切り替えます。

TV電話中のサブメニュー

項目	説明
画面切替	メイン画面とサブ画面に表示する内容を切り替えます (P.2-11)。
アウトカメラ／インカメラ	相手に送信する映像を撮影するカメラを切り替えます。
カメラオフ／カメラオン	自分の映像を送信するかどうかを設定します。カメラオフの場合は、あらかじめ設定した画像を送信できます (P.2-13)。
音声オフ／音声オン	自分の音声を相手に送信するかどうかを設定します (P.2-12)。
ファイルの再生	通話中の相手に、データフォルダ内の動画や画像を再生します。
ハンズフリー／受話器	ハンズフリー通話または受話口からの通話を切り替えます (P.2-10)。
録画／停止	TV電話中の相手の映像や音声を録画または録画を停止します (P.2-9)。
その他のアプリケーション	電話を切らずに、電話帳一覧、SMS一覧、通話履歴一覧の各画面に切り替えます。
ピクチャ イン ピクチャ	サブ画面をメイン画面のどの位置に表示するかを設定します (P.2-11)。
画質	相手に送信する映像の画質を設定します (P.2-11)。


TV電話設定

サブ画面の表示位置を設定する ＜ピクチャ イン ピクチャ＞

TV電話中のサブ画面をメイン画面のどの位置に表示するかを設定できます。選択できる表示位置は「左上」「右上」「左下」「右下」の4種類です。また「オフ」に設定すると、サブ画面は表示されなくなります。




サブ画面
(右下に表示)

- 1 メインメニューの (設定) → 「TV電話」 → 「ピクチャ イン ピクチャ」を選択する
- 2 項目を選択する


メイン画面とサブ画面の表示内容を変更 する＜画面切替＞

メイン画面またはサブ画面に、相手の映像を表示するか、自分の映像を表示するかを設定できます。「相手画像大」の場合はメイン画面に相手の映像を表示し、サブ画面に自分の映像を表示します。「自分画像大」の場合はメイン画面に自分の映像を表示し、サブ画面に相手の映像を表示します。

- 1 メインメニューの (設定) → 「TV電話」 → 「画面切替」を選択する
- 2 「メイン画像：相手」または「メイン画像：自分」を選択する

映像の画質を設定する＜画質＞

相手に送信する映像の画質を設定できます。動きが少ない場合は「画質優先」を、動きが多い場合は「動き優先」に設定します。

- 1 メインメニューの (設定) → 「TV電話」 → 「画質」を選択する
- 2 「画質優先」または「動き優先」を選択する


2

映像の送信について設定する<カメラ>

2

TV電話に応答したとき、カメラの映像を相手に送信するかどうかを設定できます。


「オン」に設定した場合は、応答するとカメラの映像が送信されます。「オフ」の場合は、応答時に映像を送信するかどうか確認のメッセージが表示されます。

1 メインメニューの (設定) → 「TV電話」 → 「カメラ」を選択する

2 「オン」または「オフ」を選択する


音声の送信を設定する<音声>

TV電話に応答したとき、自分の音声を相手に送信するかどうかを設定できます。「オン」の場合は映像と音声を、「オフ」の場合は映像のみが送信されます。

1 メインメニューの (設定) → 「TV電話」 → 「音声」を選択する


2 「オン」または「オフ」を選択する

お知らせ

- 通話中は、 「メニュー」 → 「音声オフ」 / 「音声オン」を選択すると、自分の音声を相手に送信するかどうかの切り替えができます。

TV電話がつながらない相手に自動的に音声電話でかけ直す<音声モードで自動発信>


TV電話をかけたとき、相手の携帯電話がTV電話に対応していない場合は自動的に音声電話に切り替えることができます。

1 メインメニューの (設定) → 「TV電話」 → 「音声モードで自動発信」を選択する

2 「オン」または「オフ」を選択する


映像の代わりに画像を送る <送信画像設定>

「カメラ」の設定が「オフ」の場合、カメラの映像の代わりに画像を送信することができます。データフォルダ内の画像、またはお買い上げ時に設定されている画像から指定できます。

1 メインメニューの (設定) → 「TV電話」 → 「送信画像設定」を選択する

2 画像を選択する

■ データフォルダ内の画像を選択する場合

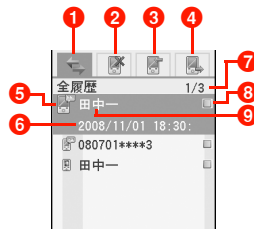
- ① 「画像の選択」を選択する
- ② 「ピクチャー」を選択する
- ③  を押して「ピクチャー (本体)」または「ピクチャー (microSDカード)」を表示させる
- ④ 送信する画像を選択する

■ お買い上げ時の設定画像を選択する場合



- ① 「デフォルト画像を使用」を選択する

通話履歴を確認／利用する

電話をかけた相手やかかってきた相手、また応答できなかった着信などは、通話履歴として記録されます。「全履歴」「不在着信」「着信履歴」「発信履歴」の各タブを選択すると、それぞれの履歴を確認することができます。



「全履歴」表示画面

- ① 「全履歴」タブ：選択するとすべての履歴が表示されます。
- ② 「不在着信」タブ：選択すると応答できなかった着信の履歴が表示されます。
- ③ 「着信履歴」タブ：選択すると応答した着信の履歴が表示されます。
- ④ 「発信履歴」タブ：選択すると発信の履歴が表示されます。
- ⑤ 通話タイプ（：音声電話、：TV電話）
- ⑥ 通話日時
- ⑦ カーソルの位置／表示中の履歴の総件数

2

- 8 マーク表示
- 9 電話番号（電話帳に登録されている場合は登録名）

〈例〉着信履歴を表示させる場合

2

1 待受画面で☎を押す

- ☎を押すと、通話履歴の種類が切り替わります。

■ 発信履歴を表示させる場合

待受画面で☎または☎を押す

2 ☎を押して履歴を確認する

■ お知らせ

- 全履歴は最大150件、発信／着信／不在着信履歴はそれぞれ最大50件まで記録されます。最大記録件数を超えると古いものから順に自動的に削除されます。

通話履歴表示中のサブメニュー

項目	説明
発信前編集	番号編集画面が表示され、電話をかけたり電話番号を編集したりできます（P.2-2）。
SMS新規作成	選択した相手にSMSを送信します（P.5-8）。
電話帳登録	選択した相手の番号を本体またはEM chip、既存の電話帳に保存します。

項目	説明
発信	選択した相手に音声電話またはTV電話をかけます。
表示モード	通話履歴の表示方法を標準モード／簡易モードに切り替えます。
削除	選択した履歴を削除します。
マーク／マーク解除	1つまたはすべての履歴をマーク／マーク解除します。
通信の状況	音声電話やTV電話の通信時間、データ通信の接続時間を確認できます（P.2-16）。

□ 通話履歴から電話をかける

通話履歴を利用して、次の方法で音声電話やTV電話をかけることができます。

〈例〉発信履歴から電話をかける場合

- ① 待受画面で☎を押す
 - ☎を押すと、着信履歴が表示されます。☎を押して、通話履歴の種類を切り替えられます。
- ② 電話をかける相手にカーソルを移動し、音声電話の場合は☎、TV電話の場合は☎を押す

通話履歴の詳細を確認する

「全履歴」「不在着信」「着信履歴」「発信履歴」の各画面から履歴の詳細を表示して、その内容を確認することができます。



- 1 通話タイプ（電話発信（音声電話）またはTV電話）
- 2 名前（電話帳に未登録の場合は「名前未登録」）
- 3 電話番号
- 4 通話日時
- 5 通話時間
- 6 リダイヤル回数

〈例〉発信履歴を確認する場合

1 待受画面で☎を押す

- ☎を押しても発信履歴を表示できます。
- ☎を押すと、通話履歴の種類が切り替わります。

2 確認したい通話履歴を選択する

お知らせ

- 詳細表示中に☎を押すと、前後の履歴の詳細を表示できます。
- 詳細表示中に音声電話の場合は☎、TV電話の場合は☎TVを押すと、表示中の相手に電話をかけることができます。

2

通話履歴の詳細画面のサブメニュー

項目	説明
発信前編集	番号編集画面が表示され、電話をかけたり電話番号を編集したりできます（P.2-2）。
SMS新規作成	表示中の相手にSMSを送信します（P.5-8）。
電話帳登録	表示中の相手の番号を本体またはEM chip、既存の電話帳に保存します。
発信	表示中の相手に音声電話またはTV電話をかけます。
削除	表示中の履歴を削除します。

通話時間や通信したデータ量を確認する <通信の状況>

2 通話時間や通信したデータ量など、次の内容を確認できません。

項目	説明
電話	音声電話またはTV電話の前の通話時間、着信／発信通話累積、通話累積合計、リセットした日時を確認できます。
TV電話	
データ通信	送信／受信データの合計量、接続時間合計、前回の送信／受信データ量、前回の接続時間、リセットした日時を確認できます。

1 待受画面で☑を押す

2 ☐ (メニュー) → 「通信の状況」を選択する

3 ☐を押して確認したい項目を表示させる

「電話」「TV電話」「データ通信」の各タブが切り替わります。

■ 通信の状況をリセットする場合

☐ (リセット) を押す

■ お知らせ

- 表示される通話時間やデータ量は目安です。
- 表示できるのは999時間59分59秒までです。これを超えるとカウントは停止します。
- リセットすると、表示中の通話時間やデータ量が「0」に戻ります。

緊急通報について

本体ロック中 (P.12-2) やPINロック中 (P.12-2)、EM chip未挿入時でも、110 (警察)、119 (消防・救急)、または118 (海上保安本部) に発信することができます。

緊急通報位置通知について

緊急通報位置通知とは、本機から緊急通報を行った場合に、発信した際の位置情報を緊急通報受理機関※¹に通知するシステムです。

通知する位置情報は、**基地局測位情報**※²です。

※1：警察、消防・救急、海上保安本部

※2：基地局測位情報の精度は、数100m～1km程度です。遠方の基地局電波を受信した場合などは、実際の位置とは異なる位置情報が通知される場合があります。

■ お知らせ

- 緊急通報位置通知機能は、2007年4月から一部の緊急通報受理機関（海上保安庁は全国）で開始され、順次全国へ拡大される予定です。
 - 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されない場合があります。緊急通報の際に必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
 - 緊急通報番号の前に「184」を付けてダイヤルした場合は、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
 - 「発信者番号通知」が「発信者番号非通知」（P.14-9）でも、緊急通報した場合は、緊急通報受理機関に電話番号を通知して、位置情報を知らせます。
 - 申込料金、通信料は一切必要ありません。
-

